

103-153

問題文

糖尿病治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ダバグリフロジンは、尿細管の Na^+ /グルコース共輸送体2(SGLT2)を阻害することで尿中へのグルコースの排泄を促進する。
2. ブホルミンは、AMP依存性キナーゼ(AMPK)を抑制することで肝臓における糖新生を抑制する。
3. ミグリトールは、小腸粘膜に存在する α -グルコシダーゼを阻害することで糖の消化と吸収を遅延させ、食後高血糖を抑制する。
4. ナテグリニドは、アルドース還元酵素を阻害することで細胞内ソルビトールの蓄積を抑制し、末梢神経障害を改善する。
5. リナグリプチンは、膵 β 細胞上のグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)受容体を直接刺激することでインスリン分泌を促進する。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。

〇〇グリフロジンと来たら SGLT2 (sodium glucose transporter 2) 阻害薬です。

選択肢 2 ですが

ブホルミンはビグアナイド系薬です。AMPK (AMP-activated protein kinase) の活性化が作用機序の一つです。抑制ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

記述はエパルレスタットについてです。ナテグリニドは速効性インスリン分泌促進薬です。SU 構造は持たないのですが SU 受容体に結合して SU 薬と同様のメカニズムで作用します。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

リラグルチドなどについての記述です。リナグリプチンは、〇〇グリプチンなので、DPP-4 (Dipeptidyl Peptidase-4) 選択的阻害薬です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。